

LION卓球ジャパンオープン 荻村杯北九州大会が、6月6日~10日まで、北九州市立総合体育館で行われた。

男子シングルスは、現在勢を著すと勢いがある、張本智和が高橋(中国)・李尚洙(大韓民国)に勝利し、決勝に進むと、ロンドン五輪チャンピオンの張繼科(中国)をゲームオールで下し、優勝を飾った。バックハンドの打点は素晴らしい、今回は試合中の戦術転換、サービスの組み立てが良かった。

女子シングルスは、伊藤美誠が優勝。抜群の反射神経で、中国選手の強打をブロックすると、得意の叩きつけるようなフォアハンド攻撃とドライブを組み合わせて、決勝では、ここ最近懸念されていた、王曼昱(中国)に勝利し、初優勝を飾った。

日本選手は、世元の声援を背に奮闘。特に男女シングルスは日本選手がアベック優勝ということで、大きな盛り上がりを見せた。

Seamaster 2018 ITTF World Tour 6月6日~10日 北九州市立総合体育館

LION JAPAN OPEN, KITAKYUSHU

北九州市制 55周年記念

ライオン卓球ジャパンオープン 荻村杯北九州大会

Singles

Women's

伊藤美誠
平成25年の福原愛選手以来の日本選手での優勝。強いボールもショットも打って各々よくプレーをみせた

中国選手に優勝し、初優勝を決めた伊藤美誠。数々のバック

王曼昱 (中国)
ダイナミックなプレースタイルで、ショットに対するボールの威力も十分



Singles

Men's

張繼科 (中国)
優勝が目標の日。試合前の緊張感が試合に響き、決勝へ進んだ。張本智和は試合後も見られるが、彼の強いプレーをみせた

李尚洙 (大韓民国)
フォアハンドの威力がフォアハンドの攻撃で活躍。ショットの早さに注意

ボル(ドイツ)
世界選手権から好成績をプレーをみせた。今大会もベスト4入りし、ショットの速さで賞金を獲得した

松平健太
慣れないボールタッチで、切戻しとドライブの両面をみせた

上田仁
抜群の台の上で、安定したバックハンドの攻撃をみせた。張繼科に勝つこともゲームオールの試合を要した




平野美宇 高打点でのバックハンドの攻撃をみせた。威力のあるボールも、鋭いコースに決まった

石川佳純 ドライブをコーナーに打ち分けるなど、フォアハンドの攻撃が良かった。自陣のラリーを要した

陳幸同(中国) 両ハンドの攻撃に威力があり、ラリーコンバットなスイングながらも、力強いボールも打つことが多かった。打点の早さも特徴的

劉詩雯(中国) コンバットなスイングながらも、力強いボールも打つことが多かった。打点の早さも特徴的



安藤みなみ 田志幸(大韓民国)、サマラ(ルーマニア)から、実力者を下し、今大会優勝した

早田ひな 地元・北九州出身の早田。スピンの効いたバックハンドの攻撃をみせた。コースに決まった

梁靖崑(中国) ショットの威力が両ハンドの攻撃に威力があった

木子(中国) 足を使った攻撃と、バック面裏ソフトラリーで打つ強いボールはポイントを取った



許智淵(タイ) フォアハンドの威力がフォアハンドの攻撃で活躍。ショットの早さに注意

馬龍(中国) 抜群の威力も持つ攻撃を要した。ショットの速さに注意

松平健太 慣れないボールタッチで、切戻しとドライブの両面をみせた

上田仁 抜群の台の上で、安定したバックハンドの攻撃をみせた。張繼科に勝つこともゲームオールの試合を要した



木迫勇人(左)・張本智和(右) 中国ペアに勝つが、台の上の対応力やコース取りが素晴らしい

梁靖崑(左)・周楷浩(中国) 鋭いプレーとドライブの威力は大会でもトップクラス。夏所でミスが目立った

男子ダブルス優勝 李尚洙(右)・梁崇地(大韓民国) コンビネーションが良く、台との距離が近く、前陣での処理が確立していた

Doubles

劉詩雯(右) 王曼昱(中国) レシーブからの展開でも、強打が打てる

女子ダブルス優勝 木子(右)・劉詩雯(中国) 動きが早く、コンビネーションも良かった

吉村真晴(右) 石川佳純 攻撃的なプレーとサービスの両面が良かった



Doubles

梁靖崑(右)・陳幸同(中国) 圧倒的な攻撃力とラリー後に勝って活躍



Doubles

NIXON